



水福連携 取組事例集

水福連携に関するお問い合わせ

岡山県農福連携サポートセンター

〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ1階
TEL：086-222-0300



岡山県農福連携サポートセンター



事例集の概要について

本事例集は、漁業の人手不足解消と障がい者の就労機会創出を目的とした「水福連携」の実践ガイドです。

漁業者の皆様には、障がい者に依頼可能な作業や連携の進め方を、福祉事業所の皆様には、漁業分野での仕事や成功事例を紹介しています。また、当サポートセンターの支援体制も示し、初めて取り組む方々の道しるべとなることを目指しています。

2025年3月

目次

事例集の概要について・目次 1

水福連携取組事例について

- 水福連携ってなに？ 2
- 農福連携サポートセンター設立の目的 3
- サポートセンター相談後の流れ 4
- 水福連携の事例（三重県） 5・6
- 水福連携の事例（神奈川県） 7
- 水福連携の事例（岡山県） 8

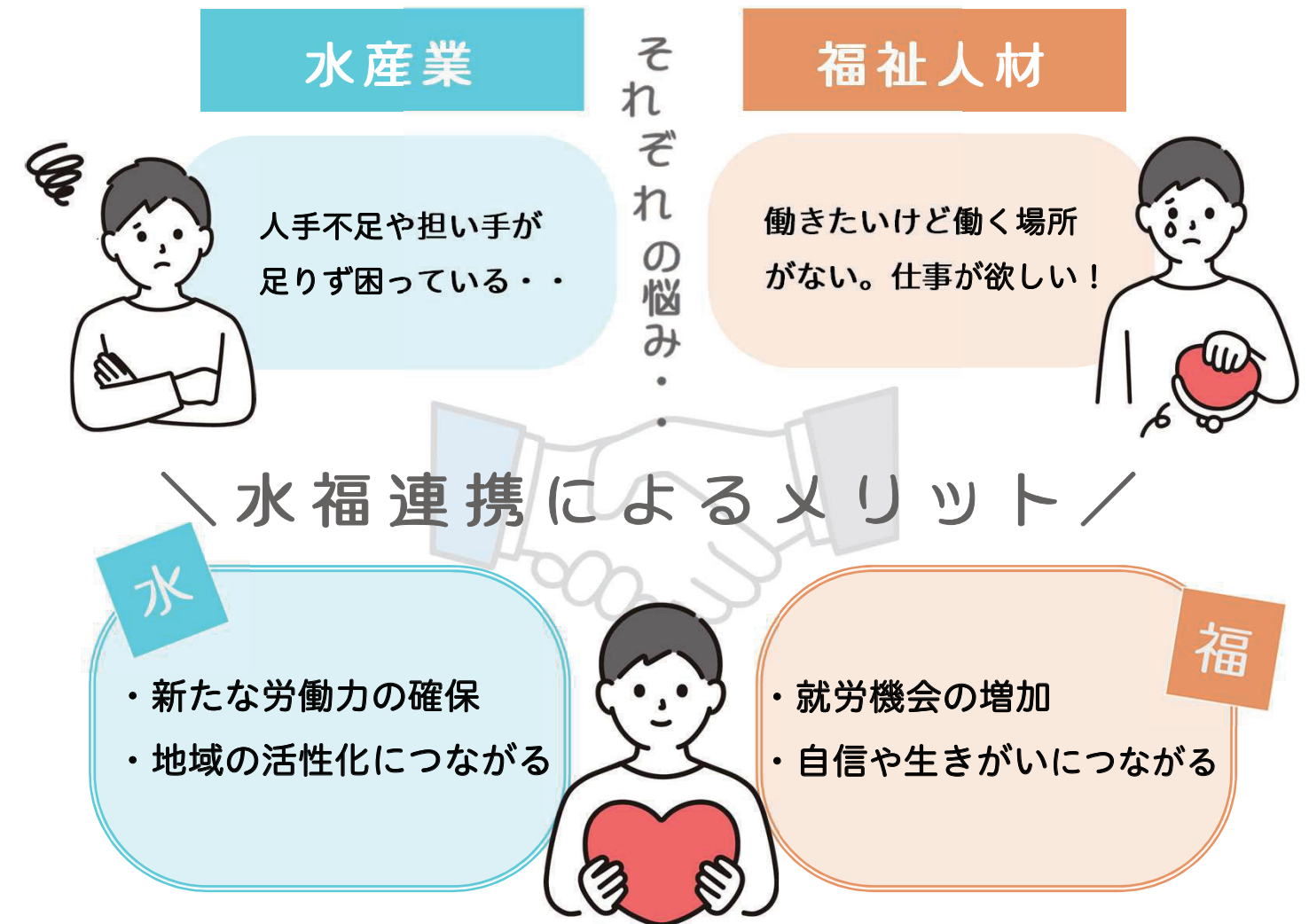
参考資料掲載

- 福祉事業所と請負作業マッチングの流れ 9
- 作業依頼シート 10

水福連携ってなに？

水産業の人手不足解消と障がい者の就労機会創出を目指します

水福連携（すいふくれんけい）とは、水産業と福祉が連携し、障がい者等の水産分野での活躍を通じて、水産業の発展とともに、障がい者等の生きがいを創出し、社会参画を実現する取り組みです。



主な連携の形

1) 施設外就労

漁業の工場で作業するのが特徴。実践的な職務経験を積むことができる。時間に制約があり、依頼先は限られる。

2) 福祉事業所内での内職

事業所内のため職員からの指導やサポートが受けやすい。作業時間の制約がなく、すきま時間に作業ができる。

農福連携 サポートセンター設立の目的

水産業と福祉人材の橋渡し役です

漁業分野における人手不足の解消と、障がい者の方々の就労機会拡大を目指し、両者の橋渡し役として県が設置した機関です。

漁業者の皆様からは「どのような作業を依頼できるか」、障害者就労事業所からは「どのような仕事があるのか」といった相談を承り、それぞれの不安や課題に丁寧に向き合いながら、最適なマッチングをサポートしています。

共同受注の窓口として、両者の円滑な連携をコーディネートし、相談から実施までの一貫した支援を無料で提供しています。

水産業者と障害者就労事業所の連携により



水産業者の高齢化に伴う水産業の生産能力低下や人手不足等の課題の解消を目指します



障害者就労事業所の就労機会の拡大や、障がいのある方の工賃向上を目指します



障がいのある方の水産分野での活躍の場の創出を目指します

サポートセンターが水産業者と障害者就労事業所との橋渡しをします。



水産業者

仕事をお願いしたいがどうすればいいのかわからない。



サポートセンター

何ができるか、どんな仕事か両者のお話をお伺いし、お互いの不安を軽減できるようアドバイスします。



障害者就労事業所

仕事を受けたい。できる仕事かどうか不安。

相談後の流れについて

水福連携を考えたらずはご相談ください。相談は無料です。

スタート

サポートセンターが水産業者の皆さんから詳しくお話を伺います。

水福連携の事例

三重県の連携事例

概要

三重県内のカキ養殖業において、人手不足解消と障がい者の就労機会創出のため、水福連携が実施されています。カキ養殖の一連の作業工程を細分化し、福祉事業所が担える単純作業を切り出して委託。施設外就労(カキ養殖場内)と施設内就労の両形態で、障がいの程度に応じた多様な働き方を実現しています。

アオサの異物除去作業【施設内就労】



異物(他の海藻、エビ、カニなど)を取り除きます。

Point

- ・バット等にアオサを広げ、目視で細かく異物を確認・除去。
- ・単純作業ながら、根気と集中力を要する。
- ・食品の品質に関わる重要な工程。

カキの洗浄・選別・収納作業【施設外就労】

殻の汚れや付着物を除去し、選別後、カゴに収納します。

Point

- ・カキ養殖場の従業員(健常者)と一緒に作業を行うケースも。
- ・単純作業ながら品質に関わる重要な工程。



連携のPoint

①作業の細分化・単純化:

カキ養殖の複雑な工程を、福祉事業所が担いやすい単純作業に切り出すこと。

水福連携の事例

三重県の連携事例

稚貝ホタテ盤の穴あけ作業【施設外就労】

ホタテ盤をロープに通すため、電動ドリルで穴を開けます。

Point

- ・安全のため、作業手順をマニュアル化。
- ・ドリルの誤動作を防ぐ治具(補助具)を導入。
- ・障がいの程度によっては、より高度な作業も可能。



ロープからの釘抜き作業【施設内就労】

ホタテ盤を固定していた釘を抜きます。

Point

- ・福祉事業所の施設内で、安全に作業をすることができる。
- ・単純作業の繰り返しで、集中力を活かせる。



連携のPoint

②安全対策の徹底:

作業マニュアルの作成、安全器具の導入、職員による丁寧な指導。

③多様な働き方の実現:

施設外就労・施設内就労、障がいの程度に応じた作業分担。

水福連携の事例

神奈川県連携事例

概要

神奈川県では、漁業だけでなく水産加工業でも障がい者の就労機会が創出されています。箱の組立、商品の袋詰め、異物除去などの作業が、施設内・外の形態で行われ、最終商品や丁寧な扱いが必要な作業にも活用されています。

干物の袋詰め作業【施設外就労】



干物に付着している異物を取り除き、丁寧に袋に詰めています。

Point

- ・具体的に見本を示しながら細かく作業内容を伝える。
- ・最初は社員による品質チェックを入念に行う。

ワカメの天日干し作業【施設外就労】

収穫したワカメを一つ一つ干していきます。



Point

- ・障がい者の体力や特性に合わせて、作業量・休憩時間を調整。
- ・転倒や熱中症の防止などに配慮する。

こんな話を聞きました

異物除去&袋詰めされた干物ですが・・・
今ではバイヤーから高評価を受けるまでになっているそうです！



水福連携の事例

岡山県連携事例

概要

岡山県では、20年以上前からカキ養殖における採苗器製作で事例があり、採苗を行う地域を中心に広く活用されています。近年では、ロープのヨリ入れ作業でのマッチングも成立し、施設内就労での活用が広がっています。今後は、施設外就労も含めた、さらなる取り組みの拡大が期待されます。

採苗器製作作業【施設内就労】

ホタテ盤の間にスペーサーを入れ、ワイヤーに通していく作業です。



Point

- ・ホタテ盤用の自作の箱を用意。
- ・枚数の誤りを防ぐとともに、作業性向上。

ロープのヨリ入れ作業【施設内就労】



水揚げ後のロープにヨリをかける作業です。

Point

- ・作業開始当初は、ヨリの加減について細かくすり合わせを行う。
- ・廃棄の基準は、写真・動画などを活用して情報を共有し、認識のずれを防ぐ。

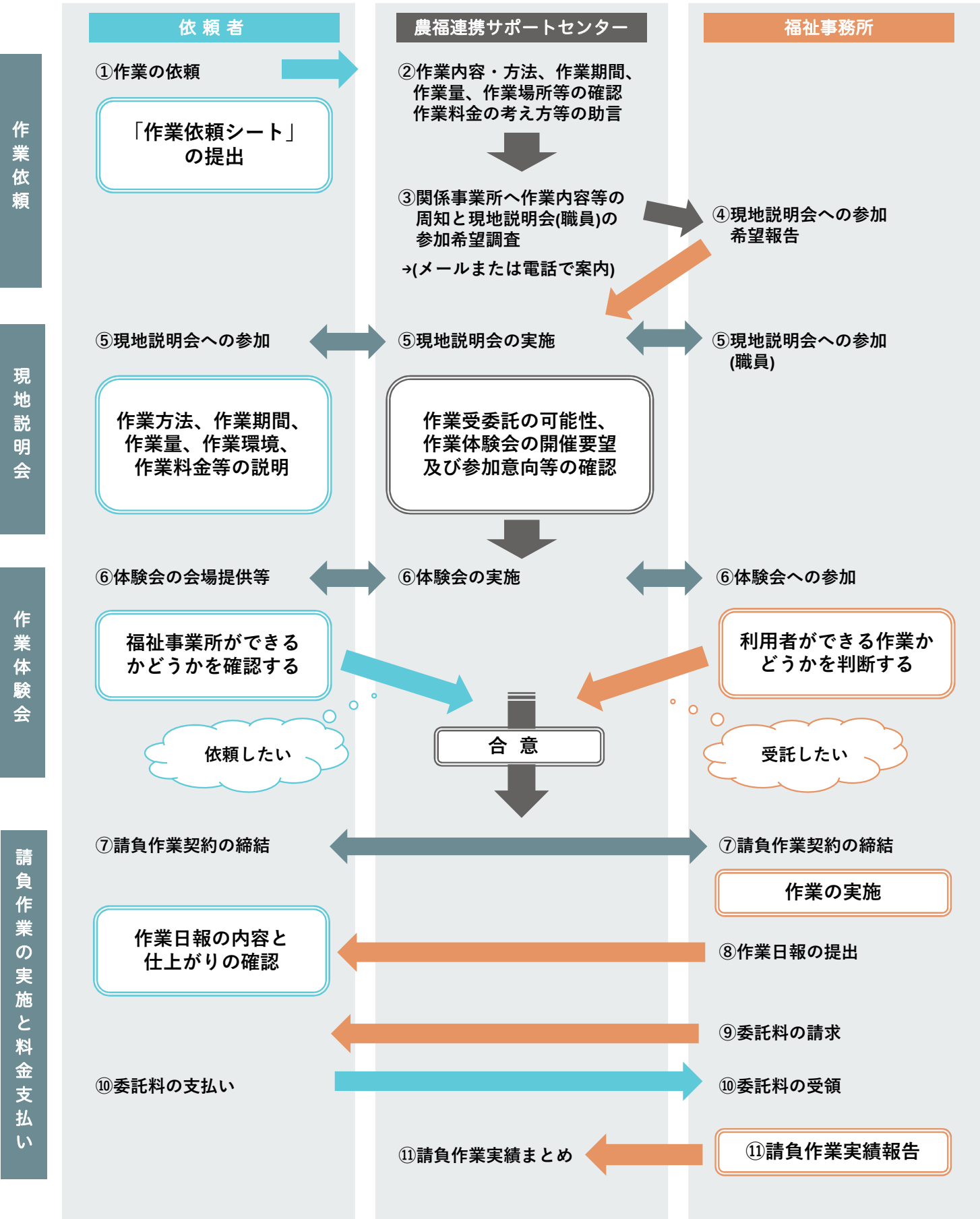
こんな話を聞きました

養殖の作業を見直してみると、意外とお願いできる仕事があります！
仕事も丁寧で助かっているそうです。



参考資料

①福祉事業所と請負作業マッチングの流れ



②作業依頼シート

【送付先】岡山県農福連携サポートセンター

e-mail okanoufuku@gaea.ocn.ne.jp
Fax 086-226-0155

年 月 日

依頼者	会社等名称				
	担当者	名前		フリガナ	
	住所				
	電話番号	※できれば携帯電話			
	e-mail				
依頼する作業	内容				
	作業方法等 (具体的に記入)				
	作業期間				
	作業量				
	作業規模 (面積,本数等)				
作業場所(住所,目印) ※複数ある場合は、主な場所					
トイレ		有・無			
作業料金					
現地説明会	日時				
	集合場所				
備考 (特記事項)					